

中部楽器技術専門学校
カリキュラムリニューアル

ギタークラフト・リペア科

2024年度学生募集

色あせないデザイン

世代を超え愛されるギターをつくるクラフトマン、

使い込まれ深みを増す音色をつくるリペアマンへ

Guitar Craft / Repair

カリキュラムの特徴

- ◆ 設計や製造、品質の向上、クラフトマンシップを高める
CAD 製図とともに、木材加工や電動工具の扱い方法も習得。質の高いギター、ベース製作を学ぶ。
- ◆ 幅広い機種へのメンテナンス、リペアのニーズに対応する
基本的な技術とともに、様々なギターの構造上の特徴を踏まえたリペア技術の習得。
幅広い年代やニーズに対応できるリペアを学ぶ。

入学生募集について

- ◆ 修業年限/定員 2年/10名
- ◆ 受験資格/入試日程・内容/学費支援制度 「2024年度学生募集要項」に準拠

※学費の詳細や願書は、希望される方に郵送いたします。 [\こちらをTAP/](#)

学校見学は [\こちらをTAP/](#)

オンライン相談は [\こちらをTAP/](#)

業界が求めている人材

コロナ禍で、ギター市場は若者を中心に新規ユーザーを取り込みながら成長を続ける一方、年配者をターゲットとしたヴィンテージやハイエンドなど、高価格帯に需要が集中しています。加えて、原料高や人件費、輸送費の高騰によるアジアでの生産モデルは値上がり、メイド・イン・ジャパンへの期待もますます高まっています。そのような中、木材加工に精通し、質の高い楽器製作ができる技術、幅広い年代やニーズに対応できるリペア技術が求められています。

特徴的な学び



製作

刃物の仕立てや加工に必要な道具の使い方の基礎からスタート。そして、CAD製図、木材加工、機械加工、手作業による細かな削り出し、塗装、パーツの組み込み、演奏性のチェックといった一連の流れを学びます。



リペア

ギターは温度や湿度の影響により、経年変化や経年劣化しやすい楽器です。個々の楽器の状態を見極めて対応できるよう、ナット交換、フレット交換、部分塗装や、ネックアイロンを使用したネック反り調整、配線修理を学びます。



業界ビジネス

軽音楽に関する商品の流通経路や製造業、卸業、小売業などの業界の知識を学ぶとともに、軽音楽に関わる楽器の販売方法、付随するサービスや商品の分類、種類、特徴といった商品知識を学びます。

素材を楽器へと変身させる、 奥深きクラフトマンの世界へ

エレクティック・ギター製造

ギターの構造を熟知し、素材を見極める目を持って、自分の手で楽器に魂を宿します。店頭に並ぶ商品のほか、オーダーメイドで製作を行うこともあります。



自ら手がけたギターが感動を 広げていく、ものづくりの醍醐味

アコースティック・ギター製造

音楽づくりはものづくりから。木の特性を生かして「生音の良さ」を追求する、妥協なきギター製作技術によってアコースティック・シーンを支えます。

持ち主の思いに技術で応える、 ギターのカウンセラー

リペア

リペアマンは技術を貫く職人であり、弾き手の相談役でもあります。一人ひとりの持ち主に納得してもらえるよう、じっくりギターと向き合って修理をします。

